

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 学校法人 国際学園

1. 事業の趣旨・目的

横浜市西部地域においては日本語の修得に悩んでいる外国人の状況が判明している。また他方、公設の市民活動支援センター等における日本語教育講座は有料であり、対象となる多くの外国人がほとんど受講していない状況にある。これらを有機的に結びつけ、問題を解決するための日本語教室を開催し、地域に住む外国人の日本語能力を向上させ、地域で生活しながら活躍できる外国人を10名以上育成する。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月14日	横浜国際福祉専門学校	坂本翔子 豊田宗裕 伊藤一郎 佐々木邦子 佐々木卓	坂本校長の議長選出 当初計画の具体案 広報手段の検討 受講者の面接日程	議長の議事進行により左記の議題案を検討し具体的に方策、日程等を決定した。
7月2日	横浜国際福祉専門学校	坂本翔子 豊田宗裕 伊藤一郎 佐々木邦子 佐々木卓	受講者の応募状況 クラス編成 A・B 講師の配置案 カリキュラム案	議長の議事進行により左記の議題案を検討し具体的に方策、日程等を決定した。
11月19日	横浜国際福祉専門学校	坂本翔子 豊田宗裕 伊藤一郎 佐々木邦子 佐々木卓	クラス分けの編成 介護用語の実習 ヘルパー2級講座	議長の議事進行により左記の議題案を検討し具体的に方策、日程等を決定した。
3月3日	横浜国際福祉専門学校	坂本翔子 豊田宗裕 伊藤一郎 佐々木邦子 佐々木卓	日本語教室終了 完了報告書作成 今後の方策	議長の議事進行により左記の議題案を検討し具体的に方策、日程等を決定した。

【写真】



3. 日本語教室の開催について

(1) 講座名 「外国人のための日本語教室」

(2) 開催場所 横浜国際福祉専門学校

日本語講座開講日及び担当教師

			入門コース	初級コース
1	7月30日	(土)	小川先生	大友先生
2	8月6日	(土)	魚瀬先生	大友先生
3	8月27日	(土)	小川先生	吉澤先生
4	9月3日	(土)	魚瀬先生	大友先生
5	9月10日	(土)	小川先生	吉澤先生
6	9月17日	(土)	魚瀬先生	吉澤先生
7	10月8日	(土)	小川先生	大友先生
8	10月15日	(土)	魚瀬先生	吉澤先生
9	10月22日	(土)	小川先生	大友先生
10	10月29日	(土)	魚瀬先生	吉澤先生
11	11月5日	(土)	小川先生	大友先生
12	11月19日	(土)	魚瀬先生	吉澤先生
13	11月26日	(土)	小川先生	大友先生
14	12月3日	(土)	魚瀬先生	吉澤先生
15	12月10日	(土)	小川先生	吉澤先生
16	12月17日	(土)	魚瀬先生	大友先生
17	1月14日	(土)	小川先生	大友先生
18	1月21日	(土)	魚瀬先生	吉澤先生
19	1月28日	(土)	小川先生・魚瀬先生	大友先生 吉澤先生
20	2月4日	(土)	伊東一郎先生	

(3) 学習目標 日本語教室を開催し、地域に住む外国人の日本語能力を向上させ、地域で生活しながら活躍できる外国人を10名以上育成する。(初級→中級へ)

(4) 使用した教材・リソース

～教材一覧～

○あそんで身につく日本語表現

○ことばをつくってあそぼう!

○にほんご日記ノート1日1文でもOK! まいにち書く

○体験的にほんご会話第2版

○絵でわかるかんたんかんじ160

○日本語を学ぼう

○日本語指導教材

- やさしい日本語初級
- あそんで身につく日本語表現・書いてあそぼう 2
- あそんで身につく日本語表現・声に出してあそぼう! 1
- みんなの日本語初級 携帯用絵教材
- みんなの日本語初級 1 回手覚える文型練習帳
- 介護の言葉と漢字ワークブック
- 介護の言葉と漢字ワークブック(インドネシア語版)
- みんなの日本語初級・中国語版
- みんなの日本語初級・英語版
- 漢字マスター4 級漢字 100
- みんなの日本語初級・漢字練習長
- みんなの日本語初級・標準問題集
- ホームヘルパー2 級課程テキスト全3巻

(5) 受講者の募集方法

県内各地域で行われている日本語教室とのつながりにより、外国人向けの就労相談会、各種説明会などのイベント会場での広報活動等によって受講生を募集した。また、(財)かながわ国際交流財団、(社)横浜市福祉施設経営者会等の協力を得た。

(6) 受講者の総数 12 人

(出身・国籍別内訳 フィリピン 4 人, 中国 4 人, タイ 2 人、ベトナム 1 人、ブラジル 1 人)

(7) 開催時間数(回数) 60 時間 (全20 回)

(8) 日本語教室の具体的内容

回(※)	開催日	時間数	受講人数	会場	内容
1—A	7/30	3	8	305 教室	「ひらがな、カタカナ」 クラスで使う日本語 形容詞拡大 自己紹介 「みんなの日本語初級 I」 1・2・3 課
1—B	7/30	3	4	307 教室	「ひらがな、カタカナ」 クラスで使う日本語 「みんなの日本語初級 I」日本語の発音
2—A	8/6	3	8	305 教室	「ひらがな、カタカナ」 形を整えて書く 「て形」(14・15 課)

2—B	8/6	3	4	307 教室	「ひらがなとカタカナ」 復習 「みんなの日本語初級Ⅰ」1課 「書いて覚える文型練習帳」。カレンダー、 時計 「絵カード」練習
3—A	8/27	3	8	305 教室	「もし病気や怪我になったら」 助詞 「います」 「あります」
3—B	8/27	3	4	307 教室	「もし病気や怪我になったら」 「みんなの日本語初級Ⅰ」 1課復習 2課、会話、練習、聴解
4—A	9/3	3	8	305 教室	「もし病気や怪我になったら」応用練習 動詞活用の導入 「た形」(19・25課) 宿題：文型練習帳、標準問題集
4—B	9/3	3	4	307 教室	「もし病気や怪我になったら」事例練習 「みんなの日本語」3課 会話・練習、聴解 漢字マスター：導入 宿題：1日15分の漢字練習
5—A	9/10	3	8	305 教室	「電車・バスの乗り方」 乗り継ぎ・乗換え応用 敬語Ⅰ (20・21・22課) 梨もぎ体験(7名参加)
5—B	9/10	3	4	307 教室	「電車・バスの乗り方」 会話練習 「聴解タスク」1・2課 「みんなの日本語」4課 、長音、促音練習 宿題： 「1日15分の漢字練習」数字 「総合表記練習」乗り物・建物等 梨もぎ体験(3名参加)
6—A	9/17	3	8	305 教室	生活言語「施設訪問」 質問等応用会話練習 授受動詞

					「あげもらい」 介護施設見学
6—B	9/17	3	4	307 教室	生活言語「施設訪問」 話の聞き方練習 「みんなの日本語」5 課 宿題：文型練習帳
7—A	10/8	3	8	305 教室	「日本における生活」 各場面における応用、練習 「聴解タスク」1～4 課 「辞書形、ない形：復習・練習」 「初級で読めるトピックス」5 課 時刻表 宿題：文型練習帳5 課、 「初級で読めるトピックス」
7—B	10/8	3	4	307 教室	「日本における生活」 困ったときの調べ方、練習 「みんなの日本語」5 課
8—A	10/15	3	8	305 教室	「日本における生活」 応用練習 自動詞 漢字マスター13 課
8—B	10/15	3	4	307 教室	「日本における生活」 衣食住練習 「みんなの日本語」5 課復習
9—A	10/22	3	8	305 教室	「もし、災害・事故・犯罪にあったら」 他動詞 「可能形」
9—B	10/22	3	4	307 教室	「もし、災害・事故・犯罪にあったら」 「みんなの日本語」 5 課：練習・問題 6 課：導入、練習 宿題：文型練習帳5・6 課 漢字マスター
10—A	10/29	3	8	305 教室	「もし、災害・事故・犯罪にあったら」 「可能形」
10—B	10/29	3	4	307 教室	「もし、災害・事故・犯罪にあったら」 「みんなの日本語」6 課復習 7 課 導入・練習
11—A	11/5	3	8	305 教室	敬語 II 初級仕上げとしての「敬語の入り口」指導
11—B	11/5	3	4	307 教室	「聴解タスク」5・6 課 「みんなの日本語」7 課復習

					及び「敬語」について
12-A	11/19	3	8	305 教室	「仮定形」 文型練習帳 35 課
12-B	11/19	3	4	307 教室	
13-A	11/26	3	8	305 教室	敬語 III 介護 II 介護ナビ他
13-B	11/26	3	4	307 教室	「漢字マスター」の読みましょう：復習・説明 「聴解タスク」7・8 課 復習 宿題：漢字マスター 「初級で読めるトピックス」8 課 導入・練習
14-A	12/3	3	8	305 教室	「皆で絵本を読もう、手紙を書こう」 読み方の練習、書き方の練習 「受身形」 文型練習帳 37 課
14-B	12/3	3	4	307 教室	「皆で絵本を読もう、手紙を書こう」 読み方の練習、書き方の練習 「初級で読めるトピックス」8 課 復習
15-A	12/10	3	8	305 教室	「皆で絵本を読もう、手紙を書こう」 読み方の練習、書き方の練習 「モダリティー」 文型練習帳 43 課、47 課
15-B	12/10	3	4	307 教室	「皆で絵本を読もう、手紙を書こう」 読み方の練習、書き方の練習 「みんなの日本語」9 課 会話・イラストシートにて 通常のスPEEDでの会話練習。アクセント の矯正。 宿題：文型練習帳、漢字
16-A	12/17	3	8	305 教室 家政実習室	「母国語と日本語で話そう」 “クリスマス会” 日本語ビンゴゲーム 「介護や介護に使用される用語知識」（初級） 外国人のための看護・介護用語集（国際交流基金） 敬語 III 介護 III
16-B	12/17	3	4	307 教室	「母国語と日本語で話そう」

				家政実習室	「みんなの日本語」 9 課復習 クリスマス会 “ 日本語ビンゴゲーム 「介護や介護に使用される用語知識」 (初級) 外国人のための看護・介護用語集 (国際交流基金)
17-A	1/14	3	8	305 教室 家政実習室	「私の国の料理教室」 “お国自慢料理” 日本語で料理の紹介・実演 フィリピン料理、中国料理 総チェック
17-B	1/14	3	4	307 教室 家政実習室	「私の国の料理教室」 「日本語作文」 自己紹介作文指導、練習 発表 「みんなの日本語」 9 課導入 日本語で料理の紹介・実演 ベトナム料理
18-A	1/21	3	8	305 教室	「介護や介護に使用される用語知識」 (初級) 外国人のための看護・介護用語集 (国際交流基金) 文法練習長 II (47 課) 「みんなの日本語 II」 まとめ、復習 総チェック
18-B	1/21	3	4	307 教室	「介護や介護に使用される用語知識」 外国人のための看護・介護用語集 (国際交流基金) 「みんなの日本語」 9 課復習 10 課導入・練習
19-A 19-B 1	1/28	3	8 4	介護実習室	「日本における生活」 自己紹介、総合復習・チェック 日本の文化 “茶道” 紹介 、和服 “着物” 着付け体験 介護 IV
20-A 20-B	2/4	3	8 4	305 教室	「介護や介護に使用される用語知識 (初級)」 ヘルパー3 級教材使用

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)



4. 事業に対する評価について

(1) 当初の学習目標の達成状況

当該日本語講座(20回)では、次のステップである“ヘルパー2級資格取得”には日本語力が到達できなかった。介護職には将来就きたい希望はあるが、現状の日本語力では資格取得が困難な者3名であった。また、受講者へのアンケートは実施した。

(2) 学習者の習得状況

外国人の来日当初の2、3年間における日本語教育の大切さを痛感している。今回の学習者のほとんどは来日10年以上、長い人は20数年という者もいたが、正式な日本語の勉強は殆どしておらず、生活する中で覚えた日本語会話で現在も生活している者がほとんどであった。(7名)

残りの4名の中国人のうち1名は中国において大学で日本語専攻しており、文法的には今回の学習者の中では一番理解していたが、反面日常会話は他の学習者に比べ遅れていた。3名は来日間もない者であったが、定期的に日本語の学習を行っているため、本講座終了時には長期滞在者に勝るレベルまで到達した。残念ながら1名が途中で名古屋に転住したため直接的な指導が最後までできなかった

また、1名はブラジル日系三世で、ブラジル在住時は全く日本語を解さなかったが、来日後、20数年独学で日本語検定2級を合格した者だが、文法的なことを含めて、意欲的に学習に励んでいた。彼女の場合は、いずれは介護福祉士の国家資格取得の機会を提供したいと思っており、将来的には、ブラジル出身の外国人介護職希望者向けの指導者を目指してもらいたい。

(3) 日本語教室設置運営の効果, 成果

今回の学習者が皆母親であるという立場上、欠席事由の大半は、仕事日との重複、子供の学校行事との重複が多く、個人的な病気等は少なかった。(ほとんど欠席は無かった)

プログラム内容については、当初のプログラムを若干の変更により、日本語の文法を加えたため、今までは耳から入った言葉の学習であった者たちが文法的に、その根拠も理解できるようになり、この面では学習の効果、また継続学習につながったと思う。

(4) 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

地域の日本語教室との連携を図り本学運営が無料講座のため、受講者も喜んで受講していた。また、横浜市西部地区においては体系だった教室が少なく地域行政からの評価が高かった。

(5) 改善点, 今後の課題について

① 現状「2クラス運営でのメリットとデメリット」

メリットとしては、会話力、読み書き能力等総合力として 2 クラスに分けることでより大きな学習効果が認められた。一方、デメリットとしては、学習者間での“教え・教わり”効果が希薄であったこと、また 4 名クラスの場合、欠席者がいると、クラスの活気が少なくなるなどが見受けられた。このデメリット解消も含めてクラス開始後 15 分間は合同授業とし、また当初計画していた行事回数を増やし、学習者間の親密度を深めるよう企画した。

② 今後の課題

総合的に考えると、学習効果面を考えれば同一言語の外国人を対象にすることが効果的と考えるが、今回のように複数言語の外国人を対象とする場合は、テキスト内容、特に日本語文法以外の教材として、ルビのふってある教材の導入が、今回のように20回という限られたクラスでの学習にはより効果的であると思う。その理由として、すべての学習者は、小型の翻訳機を持っており、漢字は読み方がわかりさえすれば、宿題も含めて、欠席時の課題が自己学習できるからで、今後は介護の教材を含めて、内容の簡略化とルビを振った教材等の開発作成が求められる。

また、体験学習型の学習方法の導入も重要であり、地域のコミュニティにおいて日本語で生活するにはこの学習方法が必要と実感している。

③ 今後の活動予定, 展望

地域に在住する外国人は多く、このような日本語教室(体系的学習)の必要性和継続性の重要性を実感している、出来れば文化庁の支援を得て、今後も継続的に実施したいと考える。

(6) その他参考資料

アンケート資料を添付します。

日本語教室アンケート集計

回答者数:9 名

1. 教室: 十分な広さ(9) ☐ ふつう(0) ☐ せまい(0)

夏: ☐ あつい(0) ☐ すずしい(3) ☐ てきおん(6)

冬: ☐ さむい(0) ☐ あつい(0) ☐ てきおん(9)

2. 時間

- ☐ 9時から早すぎる(0) ☐ 問題(もんだい)ない(9)
- (ア) 一日、3時間はながい(0) ☐ みじかい(2) ☐ ちょうどよい(7)
- (イ) 7月～2月はながい ☐ もっとみじかく ☐ ちょうどよい(9)
- (ウ) 土曜日ではなく日曜日が良い ☐ 土曜日がよい(9) ☐ 平日がよい

3. 内容

- (ア) 読み書きをもっと(5) ☐ 会話をもっと(2) ☐ 文法をもっと(2)
- (イ) 日本の文化をもっと(6) ☐ 日本の習慣(しゅうかん)をもっと(3)

4. 今までにできなかったことで、できるようになったこと

- ☐ ひらがな2) ☐ カタカナ(3) ☐ 漢字(9)
- ☐ 文が書けるようになった(9)
- ☐ 話しが今までより上手にできるようになった(9)
- ☐ 聞くことがよくわかるようになった(9)

5. これからもっと、覚えたいこと

- (ア) 話すことをもっと上手になりたい(2)
- (イ) 読み書きをもっとできるようになりたい(3)
- (ウ) 文をもっと書けるようになりたい(4)
- その他:

6. 日本語教室について

- (エ) これからも続けたい(9)
- (オ) ときどき勉強したい(0)
- (カ) 月に何回ぐらい勉強したいですか
- ☐ 1回(0) ☐ 2回(2) ☐ 3回(5) ☐ 4回(2)